平成19年度 たっち 事業計画 (案)

前年度の概況

- 丸2年を経過、認知度も増し、府中市の子育て支援の中核施設として、その一歩を踏み出せた
- ひろば登録者延べ2万人を数える。現保有利用者20,240人(1/31現在) 市内9,594人 市外10,646人 毎日11時および14時にスポットタイムと称し、日替わりでの企画対応ーボランティア受け入れ
- リフレッシュ保育 月平均登録者40名 利用者110名 保育利用申込み手続きを簡素化し、利用しやすく改善した
- ファミリーサポートセンター依頼会員820名 提供会員198名 両方会員50名(1/31現在) たっち内での業務も2年経過し、相談業務と困難ケースを共有しながら対応することができるようになった
- 相談受付は、専門相談員の役割を明確にしたことで、利用者相談等に幅がでた等の成果と市との役割分担を明確にする等の課題がある

重点ポイント

- 常に法人の役割・基本姿勢・基本指針を踏まえ
- 利用者が、楽しく かつ安全・安心に利用できる場の提供する
 - ・来館いただいた方々にまた来たいくなる場を心がける
 - ・大勢の子どもの集う場として常に事故防止を心がける
 - 常に「共に」を意識し、各事業協働する
 - ・それぞれが、それぞれの事業の理解を深める
 - 子ども家庭支援センターしらとりとの連携を深める
 - ・定期連絡会の開催、人材交流、企画連動
 - 職員のスキルアップと健康管理を図る
 - ・各種研修の活用、コミュニケーションを大切にする

全体を通しての考え方

「私たちは家族支援します」を念頭に、子育てにおける家族の力の一助となり地域の子どもたちが安心して暮らせるよう支援する

そのために、府中市協働の下、関係機関との連携を深め、子育て支援の中核拠点として、地域福祉の向上を目指す法人の基本指針を踏まえ、それぞれが読み替え、行動指針とする

- 利用者に深い共感をもつ
- 地域の方々に感謝する
- 水、電気などの資源を大切にする
- 常に防災を心がけ火をださない

与件課題

- 法人の理念 再確認
 - それぞれの立場での読み替えーことばの置き換え
- たっち内の連携強化-法人の連携・市職員との連携
 - ・密なるコミュニケーション・企画はすべての部署一体で運営する
 - ・府中市との協働-役割分担の明確化
- 子ども家庭支援センターしらとりとの連携強化
 - ・サービス提供の場の強みを最大限発揮
- 府中市連動での市内子育て支援ネットワークの構築
 - ・活用すべき要保護児童対策地域協議会・運営協議会
- 法人3児童施設の連携と情報共有
 - ・横断会議(施設長会議・サービス自主評価・事例検討会・交換研修等)

館としての運営管理

- 常に「子ども」が利用する場であることを意識し、「安全・安心」な館を維持する
 - その上で、利用者がまた来館したくなるように職員一同 マナー・思いやりを心がける
- 各事業連携による業務推進
 - ー この2年間は各々のことで精一杯 今年はずべてにおいて「つながり」をキーワードに推進 各事業をもっと「知る」「効率化」を踏まえ、企画は全員で協力する
- メンバーそれぞれ「ひとりではない」 ALL FOR ONE & ONE FOR ALL の浸透と実践
- 府中市・しらとりとの役割を明確にする
 - そして連携を拡充する
- 利用者アンケートおよび自主サービス評価を継続し、利用者視点でのサービスを推進する
- 各種研修に参加し、スキルを高める。(法人研修・外部研修・母子3施設合同研修11月・施設内研修)
- 4部署合同のケース共有会議を定期的に行い、利用者対応の統一と向上を図る
- 新人職員を対象にたっち・しらとり連動ー事業・サービス内容を目でみて、体験する研修を実施する

ひろば事業

- 利用者が安心して、安全に過ごせる場を提供する
- 利用者が話しやすい雰囲気づくりを行い、身近な相談のできる場としての役割を担う
- スポットタイム(11時・14時)などを通じ、季節を感じ、親子のふれあいを大切にする
- 子育て交流会などを通じ、利用者の仲間づくりを支援する
- 0歳児交流会(2グループ×3回を3クール) 1歳児交流会(2グループ×2回を2クール)
- スポットタイム、交流会などの輪にはいりづらい利用者を配慮し、アプローチする
- 感染症予防の対策に取り組み、掲示板などを活用し、利用者への啓発を図る
- 館として総合的支援が行えるよう他事業との連携を図る

総合相談事業

- 利用者に深い共感を持ち、いつでも気軽に相談や問い合わせができる雰囲気づくりを行う
- 利用者がより安心した子育てができるように家族全体を支援する
- 利用者のニーズを把握し、地域の方々に喜ばれる交流会や講座を実施する
 - 「妊婦向け・発達に課題のある子どもへの関わり・父親向け・母親のリフレッシュ」を年1回
- 虐待の予防と早期発見を行い、市の相談事業と連携・協働を行う
- しらとりと協働し、より充実した相談事業とサービスの提供を行う
- 他の事業と連携し、「たっち」全体として一貫性のあるサービスの提供を行う

リフレッシュ事業

- ちょっと育児に疲れたとき・・・対応できるリフレッシュ保育を目指す
- ひとりで子育てを抱え込まない、育児疲れ等の予防的役割を担う
- 利用者に共感する姿勢を持ち、「子どもの育ち」「親の育ち」を応援する
- 子どもも親も安心して利用できる保育を目指す
- 他の事業と連携し、子育て家庭を支援する

ファミリーサポート

- 広報活動に努め、会員(特に提供会員)の拡大を行う
- サポートの必要な会員がいつでも登録できるよう、定期的に依頼会員向け登録説明会を行う
- 提供会員向け講習会を充実させ、安心して援助活動を行えるよう質の向上を図る(1ターム3日間 → 4日間)
- ステップアップ講座を定期的で開催し、学習の場だけでなく提供会員同士の交流の機会とする
- 依頼会員・提供会員・サブリーダーの親睦を深め、地域での顔見知りを増やすための交流会を行う
- 市内の他の社会資源に本事業を理解していただくように積極的に働きかける
- たっち内の他の事業との協働・連携を充実させる